

## 驚きを表す慣用表現の意味分析 - 「目を見張る、目を丸くする、目を疑う」について -

M2 廖 本瑜

### 1. はじめに

驚きの感情を引き起こす認識の性質の異なりによって、人間に異なる心身反応が起こり、言語表現でもその異なりが見られる。本稿では、現代日本語における慣用表現「目を丸くする」の意味を「目を疑う」と「目を見張る」との比較を通して検討していく。「目を丸くする、目を見張る、目を疑う」のそれぞれの意味の相違点を明らかにするのが目的である。

### 2. 先行研究と問題点

#### 2.1. 分析の立場について

石田(1996): 慣用句を基本的な語彙単位と見做し、構造的意味論の分析方法を用い、<注目する>ことを表す「目」の慣用句を分析した。

本稿 = 「目を丸くする、目を見張る、目を疑う」といった慣用表現をまとめた単位と見做し、「驚き」を表すことを前提とする。

#### 2.2. 驚きの感情について

近藤(1988): 「感情」の定義: 主体が客観の表象に対して、自己にとっての(有益・有害などの)意義・価値を判断し、これへと心身全体でもって反応しその態度を形成する。さらに、評価という「認識作用的な側面」と、これに基づいての心身の反応体勢という「実践的側面」の 2 つの側面を有する。そして、「驚き」もこの 2 つの側面から捉えられるのであり、価値判断は対象を「驚くべきもの」と見なすのである。

「驚きの感情」を引き起こす「思いがけなさ」に対する認識の性質は「新奇さ」<sup>1</sup>「強烈さ」<sup>2</sup>「突然性」「無視不可能性」「不分明さ」「意外性」の 6 つの分類がある。

本稿 = 近藤(1988)の定義した「認識作用的な側面」と「実践的側面」から、「目を丸くする、目を見張る、目を疑う」の相違点を探り出す。の 6 つの分類は、驚きの感情を引き起こす対象の性質を明らかにする一つの手掛かりと考えられる。

Carroll E. Izard(1991): 「驚き」は一過的な感情であり、その結果として、ほかの感情(とまどい、恐れ、

<sup>1</sup> 「新奇さ」を備えるものについて、以下の三点が挙げられる。

既知・旧知のものと非常に異なるもの: 既知の世界には含まれていない・未知のものにどう対処してよいのか人は見当がつかないため、人を驚かせる。

異常なもの: 驚きを呼ぶ異常は、必ずしも正常と対置されるものではなく、日常から類推・予想できないものを指す。

珍奇なもの: 既知のものであっても、それとの出会いの可能性が稀であって、出会いの度ごとに新しさを感じさせ、人を驚かせる。

<sup>2</sup> 「強烈さ」の定義: 人の感受能力にとって通常レベルの刺激・印象を桁外れに超えている状態を言うのである。

興味、楽しみ、羞恥など)が引き起される場合がある。

驚きの結果として引き起こされた感情の違いも、驚きの言語表現の意味の相違点を究明する手掛かりになると考えられる。

### 2.3. 「目を見張る」について

宮地(1982):「目を見張る」は、「(すばらしさに)驚く」というプラスの価値評価が含まれることが多い。

一方、「目を丸くする」のほうが価値評価はほとんどない。

石田(2003):「舌を巻く」と「目を見張る」といった動詞慣用句と、「おどろく」といった一般動詞を対象とし、分析した。その結果、「目を見張る」は物事の外面的な性質や様子に対する驚きを表し、驚きのほかに<外面性>と<表出性>を持っており、中立評価であることが分かった。

問題点 = 価値評価の点に関して、宮地(1982)と石田(2003)は違っている。

### 3. 「目を丸くする」と「目を見張る」

(1)このように目を見張る(目を丸くする) (これも、字、なのに、そうさせられてしまう)部分をこの小説集から選ぼうとすると、もう、きりがない。(「目を見張る」= 江国香織『泳ぐのに、安全でも適切でもありません』, p226)

(2)豪華キャストの演技の素晴らしさに目を丸くする(目を見張る)。(作例)

(1)(2) 「目を見張る」と「目を丸くする」を置き換えても文の意味はほぼ同じであり、両者の類義関係を確認できる。

【目を見張る】

(3)あの頃、人々は藁ぶきの掘立て小屋に住んでいたんだから、そこへ、瓦をのせた建物が出現して、その文明には目を見張っ(??目を丸くし)たわけだ。(「目を見張った」= 清水義範『日本語必笑講座』, p211)

(4)そして、それこそはこの作家の純芸術家としての光彩であるように目を見張ら(??目を丸くさ)れ、讃えられた。(http://nikucup.blogtribe.org)

(3)(4) 「目を見張る」「目を丸くする」への置き換え困難

「目を見張る」: 話者にとってある「価値」のある物事にしか使えないことが分かった。

話者がその物事のある「価値」に対して、プラスの評価を与えている意味になる。

【目を丸くする】

(5)息子の女装した姿を見て目を丸くし(??目を見張っ)た。(「目を丸くした」= 『類語大辞典』, p179)

(6)「うへーッ、こいつは愕きましたな」と、事務長は目を丸くし(??目を見張っ)て、「それで何ですか、貴下のお持ちになっている三つのトランクの内容物は、いずれも重力打消器の全部分品なんですか。」(http://www.aozora.gr.jp/cards/000160/files/3347\_18553.html)

(5)(6) 「目を丸くする」を「目を見張る」に置き換えると容認度が下がる

(5) = 「息子の女装した姿」に対して、話者がプラス評価を与えることを想起し難いため、「目を見張る」

を用いると不自然になる。

- (6) = 目の前の出来事は、事務長にとって、プラス評価を与えるくらいの価値があるのかを判定しにくいため、「目を見張る」を用いるとやや不自然である。

【目を丸くする】【目を見張る】

- 例(1) 「目を見張る」：「(字の)部分」に対して、新奇さを持っているという価値があると話者が判断し、それに対してプラスの評価を与える。

「目を丸くする」：話者が「(字の)部分」に対しての意外性を強調し、単純に驚くという意味になるのである。

- 例(2) 「目を丸くする」：素晴らしい演技の「意外性」に対して、評価を与えずに驚く場合に用いられる。

「目を見張る」：素晴らしい演技の「新奇さ」にプラスの価値を与え、驚いて更に見ていきたい意味になる。

#### 4. 「目を丸くする」と「目を疑う」

- (7) 紙幣にコインが貫通した瞬間、観客は見たこともない光景に目を疑う(目を丸くする)ことでしょう。精密加工により貫通後はコインから手を離し、両面を観客に確認させることができます！！貫通させるものは紙幣以外にも名刺やカードなどが考えられます。

(<http://page11.auctions.yahoo.co.jp/jp/auction/n39791929>)

- (8) CNN ニュースではその様子を繰り返し放送していますが、その惨状に目を疑う(目を丸くする)ほどです。風速70メートルもの風が吹いたといことですが、これを時速に直すと250キロほどになります。

([http://www.kodomo-iin.com/blog/archives/2005/09/post\\_129](http://www.kodomo-iin.com/blog/archives/2005/09/post_129))

- (9) そして潜水シーンの目を疑う(目を丸くする)ほど美しい深海の映像は息を飲み、主人公達と同じく海に魅せられてしまいます。( <http://www15.tok2.com/home/anbweb/grand.buruu.html> )

(7)(8)(9) 互換性のある例である

【目を丸くする】

- (10) それを静かに見つめていた彼は、唐突な言葉に目を丸くする(??目を疑う)。

(<http://www.aya.or.jp/twi/Dolphin/ss/Dolphin14-1.html>)

- (11) いきなり営業ボイスに目を丸くする(??目を疑う)。

([http://www.h3.dion.ne.jp/chaos-0/tennis/s-boy19\\_06.htm](http://www.h3.dion.ne.jp/chaos-0/tennis/s-boy19_06.htm))

- (12) 意外な提案に、目を丸くする(??目を疑う) サブリ。

(<http://galstown.ne.jp/9/.../frosupi/novel/tyouhen/spring/spring2-4.htm>)

(10)(11)(12) 「目を丸くする」「目を疑う」への置き換え困難

対象(「言葉」「営業ボイス」「提案」)はいずれも視覚に限定されているものではないので、「目を疑う」を用いるとやや不自然である。

「目を疑う」は、「視覚に限定されている対象」に用いられることが分かった。

「目を丸くする」の対象は限定されていないため、「目を疑う」より使用の制約が少ない。

【視覚限定の文脈の中での「目を疑う」】

(7)(8)(9) 「目を丸くする」に入れ換え可能な例

例(7) 光景のような視覚と関わる対象に「目を疑う」を用いることができる。

例(8)(9) 「惨状」「美しい深海の映像」も視覚に限定されている物事である。

「目を疑う」:視覚限定の対象にしか使えないことから、話者にとっての認識の性質に関しては、「無視不可能性」が考えられる。また、無視不可能の対象は、話者の予想とかなり違って、その違いの程度の甚だしさから生じる「強烈さ」も、認識の性質の1つであると考えられる。つまり、無視不可能なほどの「強烈さ」から、驚いて信じられない気持ちになるのである。

「目を丸くする」:話者の捉えている認識の性質は「意外性」であり、単純に驚くという意味になる。

## 5. おわりに

以下、本稿の分析結果をまとめておく。

表現 \ 区別	視覚性の有無	認識作用的な側面		実践的側面
		話者にとっての主の認識の性質	話者の評価	
目を丸くする	無	意外性	中立	驚いて目が丸い状態になっている様子を指す
目を見張る	無	新奇性	プラス	驚いてさらに見ていきたい気持ちになる
目を疑う	有	無視不可能性・強烈さ	プラス/マイナス	話者の期待や予測があって、その事物や事象を見た結果、話者の期待や予想を外れていたため、驚いて信じられない気持ちになる

## 6. 今後の課題

ほかの驚きの慣用表現(「舌を巻く、息をのむ、開いた口が塞がらない」と、「肝を潰す、肝を冷やす、腰を抜ける」)の意味分析をする。

驚きを表す心身反応に関わる慣用表現の類型性を探る。

の結果を踏まえ、日本語から見る「驚き」という感情の仕組みを考えていく。

## 参考文献

- 石田プリシラ(1996)『筑波応用言語学研究』3「日英語の対照研究-「目」の慣用句を中心として-」,49-65  
 -----(2003)『筑波応用言語学研究』10「慣用句の意味分析- 驚き を表す動詞慣用句・一般動詞を中心に-」,1-16  
 近藤良樹(1988)「驚きの感情 - その認識作用面の分析」『佐賀大学教育学部研究論文集』,29-49  
 宮地裕(1982)『慣用句の意味と用法』明治書院  
 Carroll E. Izard(1991) *The psychology of emotions*, Plenum Press. [比較発達研究会訳 『感情心理学』1996 ナカニシヤ出版]

## 用例出典

江国香織『泳ぐのに、安全でも適切でもありません』集英社文庫

清水義範『日本語必笑講座』講談社

青空文庫(<http://www.aozora.gr.jp/index.html>)

goo(<http://www.goo.ne.jp/>) 検索期間:2006/06/28 - 2007/01/25